



特集 看護師としてのキャリア開発

興味のある分野を追求し、生き生きと働いている方の体験談を聞いてみませんか。自分のキャリアを振り返り、今後を考えるきっかけとして。

茶話会

「生き生きと働くために」

12月16日(木)
17:30~18:30

研修室

<スピーカー>

ケアカウンセラー：宮本看護師
臨床工学技士：堺井さん
大学院進学：仲西看護師

来年度からは、いよいよ特定看護師の養成が開始することとなり、看護師としてのキャリア開発の幅もますます広がってきました。

当センター内でも専門看護師や認定看護師が活躍しており、その高度な看護実践に触れ、驚いたり感動したり・・・ということも経験されているのではないのでしょうか。

今回は、看護師としてのキャリア開発の道筋についての特集です。

「深く勉強したいことがある」、「患者さんのこういう問題を解決したい」など、専門職として看護師が学びを自覚するチャンスはいろいろあると思います。

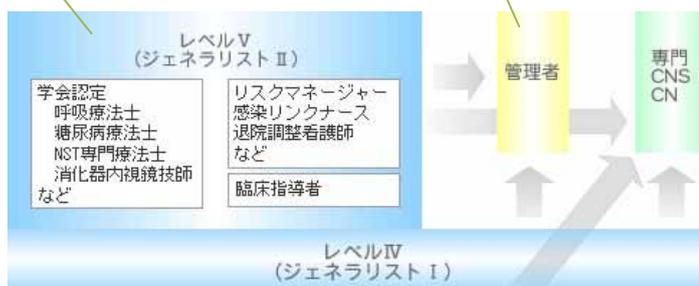
「キャリアとは職業生活を柱とし、家庭生活や社会活動を含めた生活全体のパターンであり、積み上げてきた生活のプロセスであり実績である」(金井壽宏, 1999)

・・・一人ひとりの看護師に、キャリアがあります。

下の図は、千葉県立病院看護職員キャリアパスです。当センターでは、千葉県立病院群とクリニカルラダーを共有させていただいています。皆さんが使っているラダーと併せて、下の図をご覧ください。

「生涯一看護師！」として、現場を守る看護師の役割は、とても重要です。病棟での役割を担う中で、もっと勉強したい、役割を遂行しながら培った知識・技術を何かの形で残したいなど、ジェネラリストとしてもいろいろな可能性があります。当センターの看護に関連する資格については、裏面のCNS・CNの記事をご参照ください。

日頃の業務遂行状況から適性を見込まれて管理者になる人が多いのですが、その役割を学ぶのは、ほとんどが管理者になってからです。看護協会で行う、ファースト、セカンド、サード研修等のほかに、大学院などで管理を学びます。



専門看護師・認定看護師とも通算5年以上(うち、3年以上は専門・認定分野の実務研修)の臨床経験を要します。

看護師としてのキャリアをどこでスタートしたとしても、キャリアの基礎固めをすることはとても大切です。基本的な看護技術、アセスメント、職業人としての態度など、レベル別研修にはそういった内容を盛り込んでいます。当センターでは、ステップアップ研修がこれにあたります。



当センターのラダーでは、レベルIIIを一人前として、業務上のリーダー・プリセプターの役割を到達目標にあげ、およそ、3~5年くらいを目標に教育を組み立てています。

図・千葉県立病院看護職員キャリアパス

CNS・CNからの情報



子どもの看護や、リハビリテーション看護に関連する学習の場を紹介します！！

チャンスは確々！！
さあ、あなたも今日からチャレンジ

ちょっと思いついた時にすぐ学べる場

<セミナー>

看護系の出版社等が主催するセミナーです。各種あります。思いついたらすぐ申込できます。小児やリハに関連したものも多数ありますよ。家族ケア研究所のセミナーはおすすめです (<http://www.h4.dion.ne.jp/~kazoku-c/>)

<学会>

日本看護協会：小児看護、成人看護、老年看護
日本小児看護学会、日本リハビリテーション看護学会

<講習会、講演会、認定講習会>

それぞれの学会が主催する講習会などです。学会認定取得には、まず講習会受講が必要です

それなりの覚悟がいる学びの場

<認定看護師：CN>

臨床経験5年以上、組織の推薦を得て養成校を受験して合格した後に、約6ヶ月間養成校に通います。その後、認定試験に合格すると認定看護師です。小児では、新生児集中ケア、小児救急。リハでは、脳卒中リハビリテーション。摂食・嚥下障害看護や皮膚・排泄ケアは、小児・成人の枠を超えて活躍できますね。

<専門看護師：CNS>

CNSは看護系大学院修士課程CNSコース修了が前提。経験5年以上、うち3年は専門分野の経験、修了後6ヶ月以上を要件として、組織の推薦を得て認定申請します。当センターでは、小児看護、慢性疾患看護、老人看護が専門分野になります。

小児看護専門看護師市原真穂PHS(787)

摂食・嚥下や栄養に関連する学会や研修会へ行ってみませんか

摂食・嚥下障害看護CN 青木ゆかり(2B・母子棟)

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会
<http://www.jsdr.or.jp/>

学会認定士制度あり。専門的知識・技術を身につけ臨床で活躍します。

日本静脈経腸栄養学会
<http://www.jspen.jp/>

学会認定資格「栄養サポートチーム 専門療法士」あり。NST活動で力を発揮します。

毎年8~9月頃、学会が開催されます。来年は9/2~3仙台。会員は様々な職種で構成され、毎年様々な研究報告があり興味深いです。多くの企業も学会に参加し、介護食品などの展示・試食も豊富で、興味を引きまます。

毎年2月頃、学会が開催されます。来年は2/17~18名古屋。こちらの会員も多職種で構成され、毎年賑わっています。様々な施設や患者さまの病態に応じた栄養管理について報告があり、視野が広がります。

摂食・嚥下障害看護 認定看護師研究会

まず実際に足を運び学会の雰囲気を感じて下さい



こども病院 NST勉強会

全国にいる摂食・嚥下のCNが加入している研究会ですがCN以外も参加可能です。昨年度はリンクナース1名を誘って参加しました(福井県)。また関東支部も立ち上がり、今年11/13東京で第1回勉強会があります。様々な摂食・嚥下障害のケースに対する、他院のCNの活動状況を知ることができます。

こども病院で開催されている、栄養管理に関する勉強会です。取り上げられる事例は小児・成人様々で、グループワークで栄養管理についてディスカッションします。ご興味のある方同士でぜひ参加を。まず声をおかけ下さい。

創傷関係

皮膚・排泄ケアCN 室岡陽子(外来)

学習の場 あれこれ・・・



日本褥瘡学会

今年の学会は千葉でありました。毎年8月末に開催されますが、来年は福岡にて行われます。今現場ではどのようなことが行われているのか、是非参加して勉強してほしいかがでしょうか。

日本褥瘡認定士

学会認定の資格です。所定の症例の報告などをもとに認定されます。まずは学会参加が優先されますが、興味のある方は是非どうぞ。

日本フットケア学会

フットケアの正しい知識と啓発・普及を目指し、患者のQOLと医療の質の向上、医療の効率化という目標を追求しています。

フットケア指導士

一般的な足の清潔ケア・保湿や洗浄と靴選びから、症状別、リスク別に応じた生活指導までをその範疇とし、現場での指導的役割を担うことを期待されています。学会認定資格です。

ストーマ・排泄関係

関東東ストーマリハビリテーション講習会

人工肛門・人工膀胱をもつ方のセルフケア支援のための学習の場です。毎年12月に実施しています。

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会

ストーマだけでなく、排泄における問題を皆で考え、共有する場となっています。まだまだ解明されていない分野です。身近な患者様のケアを通して、臨床実践での問題を発表してみませんか？

呼吸ケア関係

日本呼吸療法医学会セミナー

「呼吸療法や人工呼吸は難しく解らない」という、若葉マーク付きのあなたのためのセミナーです。呼吸療法に興味があるあなた、勉強しなくてはならないと考えているあなた、是非参加してみてください。

呼吸療法認定士

吸入療法・酸素療法・呼吸理学療法および人工呼吸などの呼吸療法に精通した医療者のことで、日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会の3学会合同呼吸療法認定士認定委員会の定めた諸審査を経て認定されます。興味がある方はお知らせください。